

授業科目名	開講年次	開講学期	講義種類	単位数	担当教員名
子ども家庭支援論	2	前期	講義	2	吉村 耕一

○授業の到達目標及びテーマ

専門職として家庭の機能や役割を理解し、支援するための知識・技術を修得する。

1. 家庭の意義とその機能や役割について理解する。
2. 現代社会における子育て家庭を取り巻く環境（諸課題）について理解し、支援の必要性とその背景について理解する。
3. 子育て支援・保護者支援を実践するための知識や技術を修得する。
4. 児童虐待に関する現状や課題等を学び、児童虐待の予防や対応について理解を深める。
5. 子どもとその家庭を支援する際に役立つ社会資源等について理解を深める

○授業の概要

現代社会における子育て家庭が抱える諸問題について理解を深め、支援の必要性を認識する。また、保育・教育にかかわる専門職として、子育て支援や保護者支援を実践するための知識や技術を理解するとともに、事例をとおして実践的に学びを深める。多様なニーズに対応するために、社会資源や関係機関との連携、具体的な支援方法について学ぶ。また、保育者としての心構えについて講義を通して深めていく。

○授業計画

第1回 オリエンテーション～「子ども家庭支援」を学ぶ意義

【事前学修】シラバスを確認して授業の概要等を確認し、教科書に目を通して調べ学習をする

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し配布されたプリントを使用して振り返りをする。

第2回 家族・家庭の意義と機能※

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し配布されたプリントを使用して振り返りをする。

第3回 親子関係・家族関係の理解※

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し配布されたプリントを使用して振り返りをする。

第4回 子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進

【事前学修】前回渡されたプリントに目を通し、本時の授業の参考にする。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し配布されたプリントを使用して振り返りをする。

第5回 母親の子育て・父親の子育て・夫婦関係

【事前学修】前回渡されたプリントに目を通し、本時の授業の参考にする。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し配布されたプリントを使用して振り返りをする。

第6回 子育ての喜びと不安・ストレス①

【事前学修】前回渡されたプリントに目を通し、本時の授業の参考にする。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し配布されたプリントを使用して振り返りをする。

第7回 子育ての喜びと不安・ストレス②

【事前学修】前回渡されたプリントに目を通し、本時の授業の参考にする。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し配布されたプリントを使用して振り返りをする。

第8回 地域における子育て家庭への支援

【事前学修】 前回渡されたプリントに目を通し、本時の授業の参考にする。

【事後学修】 授業で取り扱った内容を見直し配布されたプリントを使用して振り返りをする。

第9回 特別な理解と配慮の必要な子どもを育てる家庭の支援

【事前学修】 前回渡されたプリントに目を通し、本時の授業の参考にする。

【事後学修】 授業で取り扱った内容を見直し配布されたプリントを使用して振り返りをする。

第10回 児童福祉施設における家庭支援

【事前学修】 前回渡されたプリントに目を通し、本時の授業の参考にする。

【事後学修】 授業で取り扱った内容を見直し配布されたプリントを使用して振り返りをする。

第11回 子育て家庭支援の原理と支援方法～保育ソーシャルワーク

【事前学修】 前回渡されたプリントに目を通し、本時の授業の参考にする。

【事後学修】 授業で取り扱った内容を見直し配布されたプリントを使用して振り返りをする。

第12回 保育所における家庭支援と子育て相談

【事前学修】 前回渡されたプリントに目を通し、本時の授業の参考にする。

【事後学修】 授業で取り扱った内容を見直し配布されたプリントを使用して振り返りをする。

第13回 具体的な支援の方法①～理解するための傾聴(こころを使う)

【事前学修】 前回渡されたプリントに目を通し、本時の授業の参考にする。

【事後学修】 授業で取り扱った内容を見直し配布されたプリントを使用して振り返りをする。

第14回 具体的な支援の方法②～親子のこころを守るための様々なコツ

【事前学修】 前回渡されたプリントに目を通し、本時の授業の参考にする。

【事後学修】 授業で取り扱った内容を見直し配布されたプリントを使用して振り返りをする。

第15回 諸外国の子育て支援及び日本における子育て支援プログラム

【事前学修】 前回渡されたプリントに目を通し、本時の授業の参考にする。

【事後学修】 授業で取り扱った内容を見直し配布されたプリントを使用して振り返りをする。

○テキスト

※では「子ども家庭支援の心理学 演習ブック」松本峰雄監修、ミネルヴァ書房を用いる。

○参考書・参考資料等

「幼稚園教育要領解説」(最新版)文部科学省、フレーベル館

「保育所保育指針解説」(最新版)厚生労働省、フレーベル館

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府・文部科学省・厚生労働省、フレーベル館

○学生に対する評価

試験 60% 授業態度(意欲) 20% 提出物(授業プリント) 20%